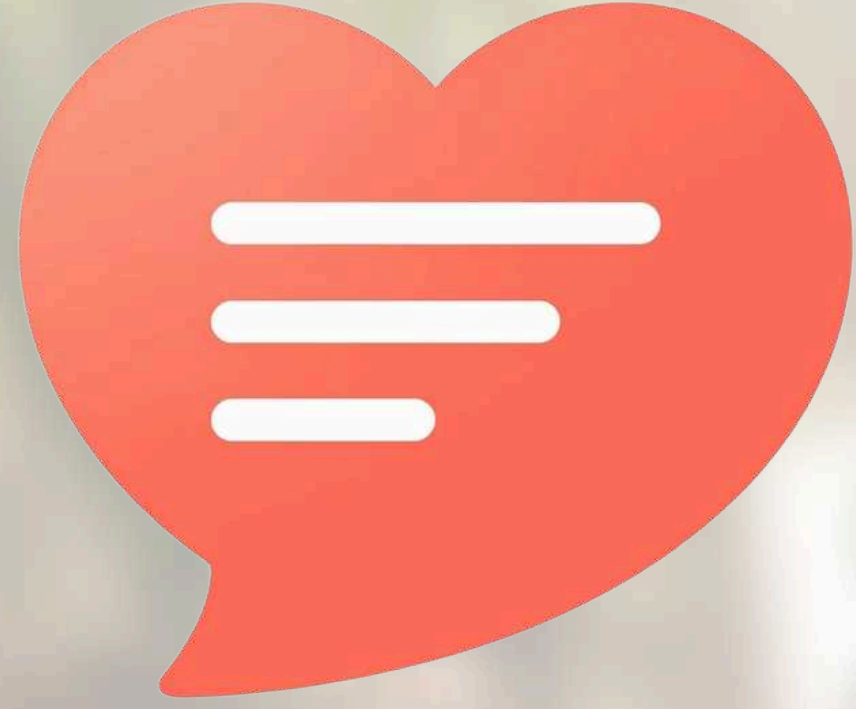
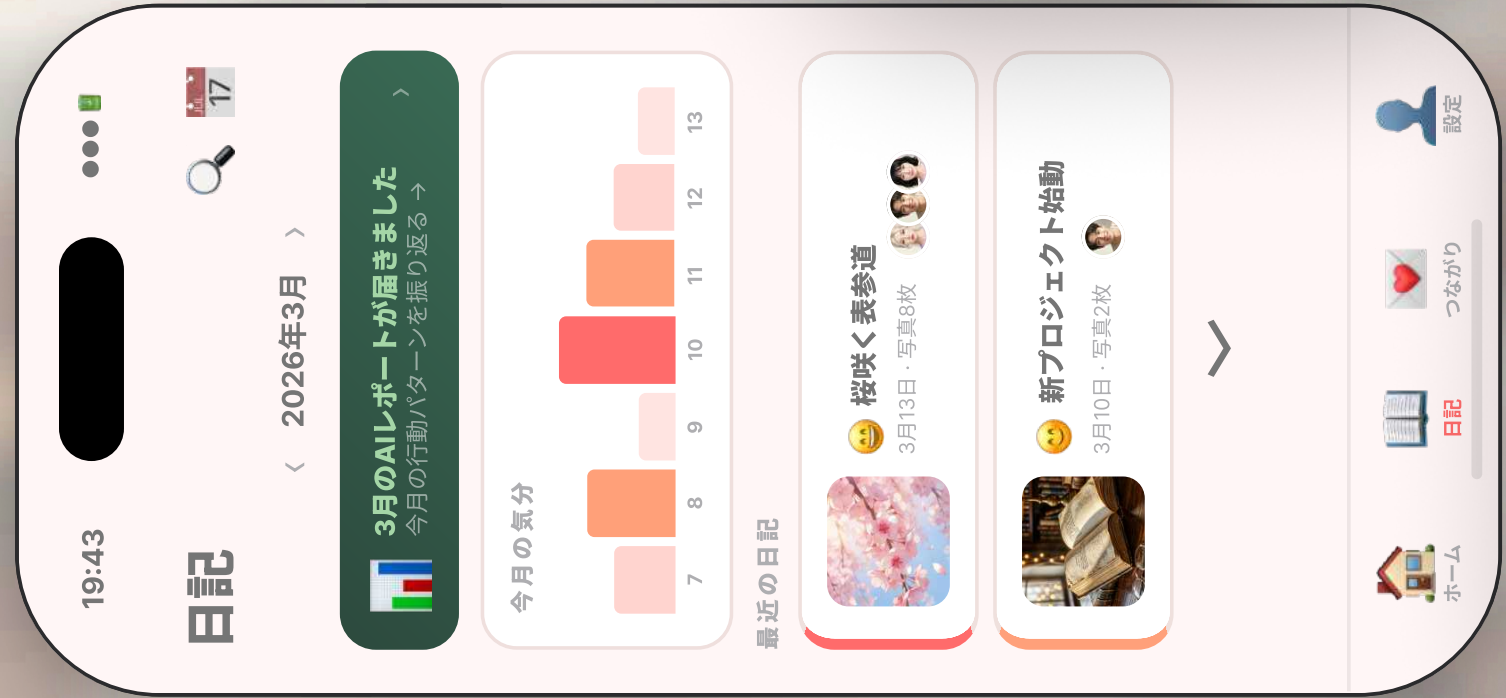


UI/UXデザイン



つむぎ日記

自然につながりができる 日記体験サービス



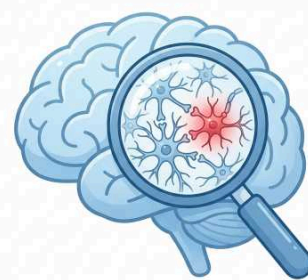


日記を書くメリット



1. 心の整頓

感情や不安を書き出すことで、頭の中が整理され、ストレスが軽くなる。



2. 自分自身の理解

書いた内容を振り返ることで、思考のクセや行動パターンが見え、自己分析しやすくなる。



3. 成長や発想の蓄積

気づきや学び、アイデアを残しておくことで、改善や創作、目標修正に活かせる。



日記を書くデメリット



1. 負担になる習慣

書く時間や気力が必要で、疲れている日や忙しい日はプレッシャーになりやすい。



2. 不快感の増幅

嫌だったことばかり書くと、その感情を何度も思い返してしまい、かえって気分が沈む。



3. プライバシー管理

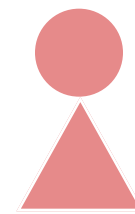
日記には個人的な本音や記録が残るため、流出するリスクに気をつける必要がある。

ペルソナ・カスタマージャーニーマップ



田沼 七海

20歳 大学生 白ギャル



- ・彼氏持ち
- ・SNS好き
- ・忘れっぽい
- ・ドライブデート

日記
目的

思い出の振り返り



市原 俊之介

35歳 会社員 アウトドア



- ・妻子持ち
- ・SNS苦手
- ・面倒くさがり
- ・家族旅行

日記
目的

子どもの成長記録

	ニーズ認識	記録開始	振り返り	継続
行動	思い出を忘れたくないと感じる	写真・位置情報・一言だけ残す	日記を見返し、出来事を振り返る	一人で記録し続けるのが面倒になる
意識	エモい瞬間をちゃんと残したい	軽く入力するだけなら続けられそう	日記は自分の感情もわかりやすい	友人との繋がりが少しあると嬉しい
課題	忘れっぽく、後で思い出せない	忙しい日は書くのが負担になる	嫌なことが多いと気分が沈む	習慣化しにくく、プライバシー不安
感情	😊	😊	😞	😞
解決策	写真や言葉で記録	AIが日記の雛形を自動生成	思考のクセや気分変化を可視化	選択的共有機能ストリーク

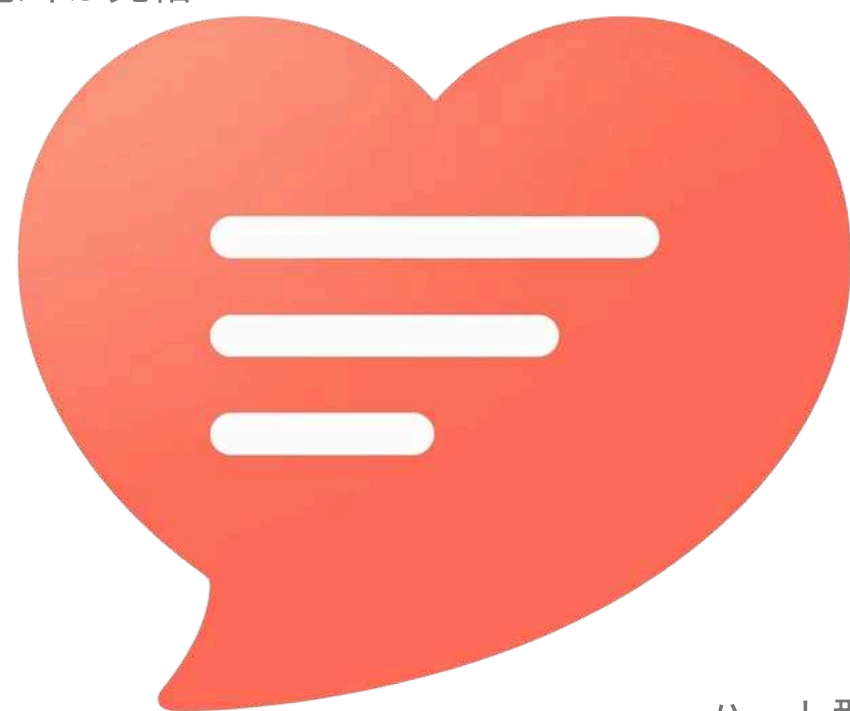
	ニーズ認識	記録開始	振り返り	継続
行動	子どもの成長を残したいと思う	育児や仕事の合間に記録する	過去の記録や感情の流れを見返す	友人と共有し意識を高め合っている
意識	仕事が忙しく常に余裕がない	手間なく安全に記録し続けたい	成長や自分の変化も実感しやすい	無理なく長く残していきたい
課題	記録したいが優先順位が下がる	入力が面倒で書くのがタスク化する	契機がないと記録が埋もれる	本音や家族情報の流出が不安
感情	😊	😞	😊	😞
解決策	テクノロジーで効率化	AIによる自動整理と書き出し支援	月次で感情や出来事を振り返り	交換日記と過去の提示で長期蓄積

コンセプト

自然につながりができる
日記体験サービス

ロゴデザイン

単色グラデーションでありながら、
シルエットだけで意味が完結



白い横線3本は記録を
直感的に想起

コーラルレッド～サーモン系の
グラデーションは温かさや
やさしさを自然に連想

ハート型と吹き出し型を掛け合わせ
「感情」と「つながり」を一つの
シルエットで同時に表現

サービス名・サブタイトル

「つむぎ日記」

毎日の記録をたからものに変える日記体験

キャッチコピー・ステートメントコピー

「つないでいこう、たからもの」

あなたの日常にあふれるつながりをやさしく紡ぐ。
日々の出来事を手軽に記録し、あとから振り返れる。
毎日がたからものになる、あなただけの特別な日記体験。

04

UIフロー

01
スプラッシュ



02
ホーム



03
日記作成



04
日記一覧



05
月次AIレポート



06
つながり一覧



07
交換日記



05

使い方

エントリー

01 — スプラッシュ画面

アプリを起動してすぐ、ブランドカラーのグラデーションとロゴで「つむぎ日記」の世界観を表現します。

キャッチコピー「つないでいこう、たからもの」で、自然につながりができる日記体験サービスを明確に伝えます。

02 — ホーム画面

ダーク背景の大きなカードが最も目を引きます。プレビューによって、記憶が呼び起こされ、日記を書きたい欲求を刺激します。

問いかけ・ストリーク・過去の記録によって、さらに日記を書きたくなるように後押しします。

💡 ここがポイント！

毎日起動する画面だからこそ、情報の優先順位を明確にする。3つのゾーンで視覚的階層を使い、ユーザーが迷わず次のアクションへ進めるように誘導する。



使い方

日記作成

03 日記作成画面

気分を4段階で選択することで、自分の内面を振り返るきっかけになります。

位置情報や時刻情報に沿って写真を並べることで、自動でタイムラインが作成され、一日の中での行動の流れが一目で分かります。

AIが生成したタイムラインを確認しながら、気が向いたイベントにだけコメントを添えます。

写真に写っている人物あるいは位置情報の近い人物を検出し、各イベントごとに、誰がいたかを判定し、イベント右端に表示します。

作成した日記をどの範囲に公開するかを選択できます。「世界全体」・「特定の友人」・「自分だけ」から選べます。

💡ここがポイント！

AIに雛形を完成させ、ユーザーは確認してコメントを添えるだけ。各イベントに「誰といたか」が自動で記録されることで、紙の日記では得られない記録の豊かさを体験できる。



使い方

振り返り

04 日記一覧

今月の気分がグラフで可視化され、気分の浮き沈みが把握できます。これによって、気分の良い日だけ見返すことなどが可能になります。

最近の日記と一緒にいた人物が表示され、人とのつながりを可視化することで記憶に残りやすい思い出になります。

05 月次AIレポート

AIによる月次のレポートを通して自分の行動を分析することで、簡単に自己理解を深められます。

よく一緒にいた人・行った場所を通して自分の好みや大切な人・場所を把握できます。

💡ここがポイント！

誰との記録が視覚的にわかる日記一覧と、一緒にいた人や行った場所が分かる月次レポートで、このアプリならではの、「人とのつながり」を可視化する価値を体験できる。



使い方

つながり

06 つながり一覧

「今月一緒にいた友人」を横スクロールで一覧表示します。人物検出データを起点に交換日記への招待や会話が自然に発生する設計です。

友人を会う頻度で並べ、アイコンと日数で表示します。よく会う人が目に付くという自然な動線で、交換日記開始のきっかけを作ります。

07 交換日記

特定の人にだけ知ってほしい内容は交換日記で直接やり取りができ、投稿した日記を参照して会話をスムーズにできます。

メッセージのやり取りを通して友人と一緒に日記を書くことで、継続のモチベーションにつながります。

💡ここがポイント！

人物検出データを「つながり」の起点として活用し、よく会う友人と自然に交換日記が始まる流れを設計する。交換日記の中でも写真+場所+コメントのタイムライン型を維持し、アプリ全体の体験を統一する。



概要



既存の日記の限界



コンセプト
自然につながりができる
日記体験サービス

解消点・到達点

- 写真・位置情報からAIが日記の雛形を自動生成することで、書く時間がない日は続けられないという従来の日記の負担を軽減した。
- 人物・場所情報を自動で紐づけるタイムライン構造により、誰と・どこでを含んだ記録で、紙の日記にない振り返り体験を実現した。
- 気分グラフや月次AIレポートを通じて、感情の変化や行動パターンを可視化し、自己理解につながる内省のきっかけを提供した。
- 一緒にいた人の可視化や交換日記によって、日記が一人で完結するのではなく「他者とのつながりを深める体験」として機能した。

懸念点・改善点

- 人物検出や位置情報などセンシティブなデータに依存するため、プライバシー保護や同意設計、ガイドライン整備が必要になる。
- 若年SNSユーザーと、デジタルに不慣れなユーザーでは操作難易度が異なるため、ペルソナごとに最適化する工夫が求められる。
- AIによる自動生成に頼りすぎ、自分で書いて考えるという日記本来の内省が薄くなる懸念があり、バランスを調整する必要がある。
- 人とのつながり可視化やストリーク表示で、更新できなかった日や人間関係の変化に対し、不快感を与えない配慮が必要になる。